

別府

別府市ボランティアセンター

令和7年10月15日

ほっと湯のまち

ボラ通信



秋号

社会福社会館の玄関に毎月、素敵なお花を生けてくださる生け花ボランティアの星野百葉さんの作品です。

発行 社会福祉法人 別府市社会福祉協議会
TEL 0977-26-6070
Mail b-shakyo2@ctb.ne.jp

第1回ボランティアセンターまつり！！

11月16日(日)
12:40~

今年、福祉まつりの会場ステージでボランティアセンターまつりも同時開催することになりました！日頃の活動の成果を存分に発揮し来場者を楽しませてください！！

温泉たま子 さん

長年、ボランティアに取り組んでいらっしゃる。見てくださる方の笑顔を見ることがやりがいだとおっしゃっていました。温泉たま子さんの見事なマジックをぜひご覧ください！！



やまなみハーモニカクラブ さん

やまなみハーモニカクラブさんは、2010年ごろから社協のボランティア登録をしてくださっています。ハーモニカの素敵な音色をぜひお聴きください！



ボランティアセンターまつり

☆日時 11月16日(日) 12:40~13:30

☆場所 別府公園 特設ステージ



赤い羽根共同募金運動がはじまりました！

10月1日～7日に市内各所で、赤い羽根共同募金の街頭募金活動を行いました。当日は、民生委員をはじめ地域の学校や施設等の福祉団体の皆さんと一緒に声かけを行い、多くの方にご協力をいただきました。



皆さまからお寄せいただいた募金は、地域の福祉活動や住みよいまちづくりのために大切に活用させていただきます。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。

チームオレンジ 別府



認知症の人が、できる限り住み慣れた地域の中で、自分らしく暮らし続けられることができるよう、ご本人やその家族のニーズを支援につなげる仕組み「チームオレンジ」の活動をご紹介します。
9月はアルツハイマー月間ということで街頭啓発活動に参加しました。認知症という病気について正しい知識と理解を深めていきましょう。



演芸ボランティアさん急募！！

踊りや歌、楽器演奏にマジックなどなど、演芸ボランティアの依頼が増えています！敬老会や自治会行事に福祉施設であなたの一芸披露しませんか??
地域や施設の方々を楽しく盛り上げましょう！！



たすけあいコラム

～優しさを日々配ればいい！～

別府市ボランティア連絡協議会では年に2回フードボランティアとして食品や生活用品をひとり親家庭対象の社協ぬくもりセット定期便への寄付を通じて支援しています。
別府市ボランティア連絡協議会連では随時会員を募集しています。年会費：個人600円 団体1,000円（メンバー1人につき+100円）
楽しい仲間が待っています！お問い合わせは事務局の別府市社会福祉協議会まで。

別府市ボランティア連絡協議会



貸出用レクリエーション用品紹介

NEW!! 玉入れ

別府市社協では、レクリエーションやサロン活動でも使える用品の貸し出しを行っています。期間は最長7日間、費用は無料です。

対象：別府市社協会員

- 個人・団体…特別会員一口以上1,000円から
- 法人…法人会員一口以上5,000円から

「玉入れ」と「白黒ゲーム」を紹介します。どちらも人気の用品ですので、イベントシーズンには空きがない場合もございます。先着順になりますので日程が決まれば早めの予約がおすすめです。子供から大人まで幅広い世代で遊ぶことができます。

白黒ゲーム



他のレクリエーション備品については、HPに掲載しているカタログからご確認いただけます。ぜひご覧ください。

“ちょいボラ” 知ってますか？

別府市社協は登録制の有償ボランティア活動「ちょいボラ」に取り組んでいます。身の回りの環境美化や軽作業を、ご自身でできなくて困っている方に可能な範囲で、代行するボランティアのことで。 (概ね30分以内で終わる活動)・電球交換・ゴミ出し・家具移動・室内清掃・買い物代行など簡単な作業です。

現在75名の登録ボランティアが活躍していますがお困りの方は年々増えています。興味のある方は養成講座を受講してみませんか？1時間程度の講座で毎月4地区で開催中です。詳しくはホームページ、社協だよりをご覧ください。(問合せ・申込みはこちら) 0977-27-8835



福祉教育ボランティア



市内の幼・小・中学校等の子どもたちに、助け合う心や思いやりを学ぶお手伝いを一緒にしませんか？

- ・学校での福祉体験のサポート
- ・ご自身の体験をお話ししていただくこともあります。

福祉教育の人気者！
盲導犬のチェロちゃん



新コーナー
「わくわく人」②
びと

「わくわく人(びと)」とは…温泉が湧くようにエネルギーが湧き出ている人、わくわくするような活動をしている人という意味でつけました。

能登半島地震の時、災害ボランティアを知り登録をしました。社会福祉協議会が開催する研修に参加し、別府の土砂災害、国東・熊本の水害で災害ボランティアに参加する事が出来ました。今後も災害現場に足を運び少しでも役に立てるように頑張ります。

「ちょいボラ」やイベント活動など様々なボランティアでも活躍されています！

木下 彰 さん

災害ボランティアってなあに？③



「支える力は、腕力だけじゃない」

大きな災害が起きると、がれきを運ぶ人や土のうを積む人の姿が報道されます。確かにそれも大切な活動です。しかし、災害ボランティアの力は、それだけではありません。

ある高齢の女性は、力仕事ができないからと参加をためらっていました。しかし、避難所で一緒におにぎりを握り、被災した方々と談笑する中で、「私でも役に立てるんだ」と涙を流していました。その姿は、周りにいた人の心を大きく励ましました。

災害ボランティアに必要なのは、特別な体力や技術だけではありません。「誰かを思う気持ち」こそが、最も大きな支えになります。

私たち一人一人にできることは、必ずあります。あなたの優しさも、必ず誰かの力になりますよ。

もしもの安心…

★ボランティア活動保険★

- 対象者：ボランティア活動をしている個人・団体の方
- 加入条件：社会福祉協議会へのボランティア登録が必要 年間いつでも加入いただけます。
- 補償期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間

基本プラン 350円

天災・地震補償プラン 500円

ふくしの保険



※基本タイプは、ボランティア活動中の地震・津波等の天災によるケガには対応していません。

自発的な行動

それがボランティアの基本です

ボランティアについてのお問合せ
平日 8:30~17:00
TEL 0977-26-6070



BEPPU.SHAKYO



LINE



ホームページ